



Weekly Report

NO.1171 平成 25 年 1 月 29 日

小諸浅間ロータリークラブ

◆例会日/週火曜日 12:30~13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 2階
TEL 0267-23-8125 FAX 0267-23-2788

2012-2013 役員

◆会 長 / 黒澤 明男 ◆副 会 長 / 小林 秋生
◆幹 事 / 西川 宏 ◆行方広報・情報委員長 / 橋詰 希望



- ◆点鐘 黒澤 明男 会長
- ◆SAA 小林 秋生 委員
- ◆ソング 我らの生業

【会長挨拶】 黒澤 明男 会長

今月は、ロータリー理解推進月間です。本日のプログラムは月間に添った、当クラブで一番ロータリー大好き会員の橋詰クラブ広報、情報委員長に、卓話を戴くことになっております。どんな切り口での話か、楽しみにしており、改めて理解推進という言葉を勉強したいと思います。識見に期待しております。

さて、お正月は酒を飲む機会が多くカミさんは好きで飲みに行くと思っておりますが・・・当たっています？私にとって解っているようで、なんとなく行っている、酒席、酒宴の前の乾杯<乾盃>という言葉は大辞林、広辞苑では杯の酒を飲み干す事。特に宴席で杯を捧げて慶事、神事に人の健康を願って、その酒を飲み干す事とあります。これを酒造業の人に聞くと、古くからの習慣ではなく明治 37 年、1904 年、日清戦争の頃から始まったまだ新しいものだそうです。神に供えた日本酒を神よりいただき飲む、つまり乾杯の時、杯入れる酒は「おみき神酒」で神に捧げたものを、御下りとして頂く、国酒、日本酒で身を清め神と一体感をもつ、特別な飲み物です。お神酒としての日本酒で盃を上げ、その後好きな食べ物と相性のいい酒を嗜めば、酒と料理のとても深く、いい関係に気付けるでしょう。適度な酒は食欲を増進させ、料理の味を引き立たせてくれると言われております。また酒は、リラックスしたムードをつくり、なごやかな食卓をも演出してくれます。つまり酒と料理の絶妙なハーモニーが、その国、その土地にふさわしい食文化、飲酒文化を豊かに育ててき

たというわけです。こうした背景から自然の流れとして飲むことが推奨されてきたが、酒はいつもほど良く健康的に粋に飲みたいものです。「皆様の御健康と御多幸を祈念して」本日の会長挨拶を終わります。

【幹事報告】 西川 宏 幹事

1. 国際ロータリーより
ロータリーレート変更のについて
2月より1ドル=88円(現行82円)に変更

2. 宮坂ガバナーエレクトより
2013~2014 年度RIのテーマ
「ローター-を実践し みんなに豊かな人生を」

3. 例会変更

上田RC

2月25日(月)合同夜間例会振替の為
定刻受付あり

蓼科RC

2月6日(水)理事会決定により休会
定刻受付あり

東御RC

2月20日(水)IM・会員セミナーに振替
定刻受付あり

2月27日(水)合同例会の為
刻受付あり

3月20日(水)法定休日の為休会
受付なし

丸子RC

2月14日(木)IM・会員セミナーに振替
定刻受付あり

2月28日(木)節分例会振替の為
定刻受付なし

4. 週報 上田RC

本日の配布物
IM講演会パンフレット、抜萃のつづりその

【委員会報告】

奉仕プロジェクト委員会

小池 平一郎委員長

・書き損じハガキのお願い

◆ラッキー賞

NO. 18 掛川 興太郎君

◆ニコBOX 小山 盛夫 委員

掛川興太郎君	ラッキー賞ありがとうございました。
黒澤明男君	橋詰委員長の話、期待しております。
小池平一郎君	社会奉仕の為早退いたします。Rotary 理解月間の卓話、楽しみにしています。
小山盛夫君	これをもちまして、1月のお努めを終わらせていただきます。
西川宏君	今月も元気で過ごしました。
橋詰希望君	本日卓話をさせていただきます。
依田晋一君	年令を考えて、車の運転に気をつけましょう。

【本日のプログラム】

「ロータリー理解推進月間に向け」クラブ広報・情報委員会 橋詰 希望委員長

新「ロータリーの目的」

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を推奨し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を推奨することにある。

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること

RI戦略計画

本質(ビジョン)

地域の人々の生活を改善したいという情熱を社会に役立つ活動に注いでいる、献身的な人々の世界的ネットワーク。

使命

私たちは、他者に奉仕し、高い倫理基準を推進し、事業と専門職種、および地域社会のリーダー間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進する。

中核的価値観

ロータリーの「中核的価値観」は、ロータリアンの優先事項と行動の指針となる組織の基本原則を表すものである。これらの価値観はリーダーシップの意図と方向性を示す原動力となるものであるため、ロータリーの戦略計画において益々重要性を増しているものである。

奉仕

ロータリーの奉仕活動とプログラムは、さらなる世界理解と平和をもたらすものであると、私たちは信じている。奉仕はロータリーの使命の中でもっとも重要なものである。私たちは、個々のクラブの計画と実践活動を通じて、奉仕するものに無類の喜びを与え、組織全体に奉仕の文化を創造しているのである。

親睦

個人による奉仕の活動は個々のニーズに焦点を当てるものであるが、人類に奉仕する共同活動も重要であると、私たちは信じている。力を合わせて活動すれば、その力は無限となり、多くのリソース(資源)をもたらし、人生を豊かにし、視野を広げるものとなる。親睦のネットワークは民族や国家といったさまざまな違いを超越して寛容へと導くものである。

多様性

ロータリーは「奉仕の理念」のもとに、すべての人々を世界的に結束させることができると私たちは信じている。私たちは、会員組織において、また、活動や奉仕において、職業の多様性を大切にしている。将来の繁栄の鍵を握るのは、地域社会の事業や専門職務を反映したクラブである。

高潔性

私たちは、活動の結果や目標達成の過程において責任を守り、また、私たちのリーダーや仲間のロータリアンもそうであることを期待している。私たちは、仕事や人間関係において常に職業倫理の高い水準を固く守っている。私たちは、公平さと尊厳の念を持ちながら人々と付き合い、私たちに託されたリソース(資源)を良心的に管理する。

リーダーシップ

ロータリーは、さまざまな分野で指導力を発揮できるリーダーの世界的な集まりである。私たちは、このようなリーダーシップの力を育むことが重要であり、ロータリアン各自が優れたリーダーシップの資質を備えているものと信じている。ロータリアンである私たちは、これらの「中核的価値観」を率先して実行するリーダーである。

これらの「中核的価値観」は、すべて私たちが日常用いている「ロータリーの目的」と「四つのテスト」に反映されている。ロータリーの「中核的価値観」は、人と人との関係における高潔さを養い、維持していくために、「奉仕の理念」を推奨し、育むよう、私たちを励ますものである。

来週のプログラム：「小諸城物語と小諸フィルムコミッション」 牧野 和人氏

【出席報告】 渡辺 文夫 委員

	会員数	出席	M・U	欠席	出席率
本日 01月29日	24	21	事前(1)		87.50%
前々回 01月15日	24	22	事後(1)		修正 95.83%